

学校教育目標

「考える 関わる 創りだす」

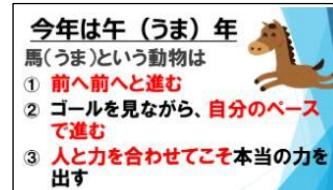
～自分で考え 仲間と考え 創りだしたり解決したりする子の育成～



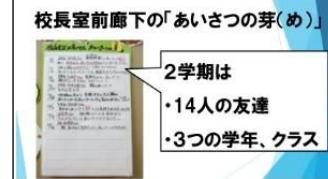
まとめと準備の3学期スタート

3学期始業式では、主に二つの話をしました。一つめは、3学期は今の学年のまとめと次の学年への準備の学期である話です。これは先生方にも同じことが言えます。学習面で言えば、2年生ではかけ算の学習があります。2年生でかけ算九九を暗唱できなければ、3年生以上の算数の学習でとても苦労することになります。生活面では、5年生は6年生を送る会の準備があります。全校をリードする経験を通して、数か月後には自分たちが最高学年になることを自覚させる必要があります。

二つめは、「あいさつをがんばろう」という話です。あいさつができる子どもたちは増えていますが、まだ、あいさつをされても返せない子どももいます。あいさつという行為は、「相手の存在を認める行為」でもあります。あいさつを返されない人にとってこんなに悲しいことはありません。笑顔がいっぱいの学校になるためにあいさつは欠かせません。引き続きがんばっていきます。



3学期は、一人一人が自分のペースで、時にはみんなで、
▶ 今学期のまとめ
▶ 次の学年への準備



みんなで あいさつあふれる学校にしていきましょう！
そして、笑顔がいっぱいのまなづるにしていきましょう！
先生たちも がんばります！

【考える・創りだす】 代表委員会 ~ハッピー思い出大作戦~

1月23日(金)に代表委員会が行われました。提案者は5年生で、議題は6年生を送る会「ハッピー思い出大作戦」です。代表委員会の提案者は2名程度のことが多いですが、先述のように今回は5年生が提案ということで、提案者席には多くの5年生が座っていました。代表委員会が始まると、各学年代表からは、「〇〇の方が6年生に喜んでもらえると思います。」といった意見が多く出されていました。これから送る会当日まで、「6年生のために」という思いで様々な取組が行われます。学校全体が、6年生の笑顔のために活動する素敵な期間になりそうです。5年生これからが本番です。よろしくお願いします。



【考える】 予告なし避難訓練 ~より実際に即した訓練を通して~

1月26日(月)に予告なし避難訓練を行いました。今回の訓練は、大きな揺れのため、①校内放送と校内電話が使用できなくなった。②火災発生なし。③揺れによる転倒で大きな負傷をした児童が出た。④訓練中15分後に大きな余震が起きる。という想定で行いました。トランシーバーを使っての情報収集やタンカの要請等、教職員はこれまでと大きく異なる動きをとることになりました。タンカが教室に入ってきた子どもたちは、神妙な顔つきになり真剣みが増したようです。今回、子どもたちの動きで大きく変更した点はありませんでしたが、訓練後の振り返りに重点を置きました。これまで避難訓練は、子どもたちにとって受け身のものでしたが、いざというときは、自分で考え、自分の身は自分で守ることができる子どもたちにしていきたいと思います。以下は子どもたちの振り返りです。



- ・地震は何回も来ることが分かった。
- ・津波警報が出た場合の訓練をしてみたい。
- ・余震が来たことに驚いた。実際にありえることで、この訓練をきっかけに自分たちがいろいろ想像することもできるのでよい経験になった。